

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 7月14日

## 【評価実施概要】

事業所番号	” 0175000694
法人名	(有)ラポートケア
事業所名	グループホーム ふ・れ・や・か和
所在地	北海道北見市東陵町48番地の19 (電話) 0157-22-4055

評価機関名	(有) NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成20年6月30日

## 【情報提供票より】(20年5月31日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 5 月 20 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	7 人, 非常勤 11 人, 常勤換算 4.2 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り
	4階建ての 1階 ~ 4階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	18,000円	
敷金	無		10月~3月暖房費1,500円	
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	380 円	昼食	380 円
	夕食	380 円	おやつ	60 円
	または1日当たり 1,200 円			

### (4) 利用者の概要(5月31日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81 歳	最低	65 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	清月クリニック ・ とまべちクリニック ・ 緑町歯科医院
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームふれやか和は、陸上競技場・北見工業大学近くの緑豊かで静かな住宅街に位置しています。一人ひとりの希望に合わせて回転寿司に行ったり、合唱団の練習・芝桜・菊祭見学、週1度の書道教室や月1度のボランティアによるカラオケ大会、盆踊りに参加するなど、『和が第二の我が家』の理念のもと管理者・職員は常に利用者の立場になって考え、安心して生活が送れるよう心掛けています。結婚した職員を囲んで『おめでとを伝える会』を開き、手作りケーキや利用者からの手作りブーケのプレゼントでお祝いするなど、いつもアットホームで利用者の笑顔と笑い声に満ちています。又、4月に就任した管理者の意識が高く、日誌や介護計画の内容見直し・書式変更や、運営推進会議実施要綱や計画がなされ、今まで以上に意欲的に取り組んでいます。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員を育てる取り組みの改善として、マニュアルを作成しての指導・教育、実践現場での技術指導、講習・研修会の周知・参加促進を行っています。災害対策の改善として、避難訓練の実施、災害時の協力体制強化に伴い向かいの下宿の学生にお願いしています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は、自己評価の意義について十分理解していますが、4月より勤務し時間等の問題で今回管理者のみで作成しています。次回の評価について全職員で協議する必要性を認識しており、今後の課題となります。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、昨年の11月以降開催されていません。4月より管理者が変わり7月より2ヶ月に1度開催予定で運営推進会議実施要綱や計画はされています。参加者は、地域住民代表、包括支援センター職員、利用者代表、家族代表、施設長、副施設長、管理者、職員で構成され行事予定の報告、緊急時の対応など話し合われています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族への報告は毎月『やわらぎ便り』を送り、家族来訪時には金銭出納帳を明示し本人の状況を伝え、意見・苦情等が気軽に言えるような雰囲気作り心掛けています。又、遠方に住んでいる家族や来訪の少ない家族には、電話で近況報告しています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、積極的に行事(町内会清掃・花見・盆踊りなど)に参加しています。施設長の生まれ育った場所という事で地域の方の理解、協力も得やすく散歩時に挨拶・談話を交わし庭の花を頂いたり料理本を頂く等の関係も築いています。地域の幼稚園、小学校との交流もあり、幼稚園発表会の練習を見学したり、運動会では利用者の出場種目を作ってくれるなど地域交流を図っています。</p>

(有)NAVIRE

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム内には、ホーム独自の理念がわかり易く提示されて、自由に、ゆったり、ありのままに、その人らしさを尊重して第二の我が家を目指し、地域に根ざした独自の理念をつくりあげています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームでは、理念を日常的に実践できるようミーティング等で話し合い、『和が第二の我が家』と思って暮らせるように、理念に基づき常に笑顔で接するよう努めています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、行事等にも積極的に参加しています。地域の盆踊り大会には、利用者6人が参加し地域の住民と楽しく踊り交流を図っています。昨年夏には、やわらぎ祭りを開催し学生ボランティアによる出店など利用者、家族、地域の方々と楽しく過ごす交流がされています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は、評価の意義を十分理解していますが今回忙しく自己評価を管理者のみで作成しています。	○	全職員が、評価の意義や活用方法を理解し自己評価に取り組む、外部評価の結果はミーティングで報告し、改善にむけて具体案の検討を期待します。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今まで行事報告や緊急時の対応など話し合われていましたが、11月より人員不足等で運営推進会議は行われていません。7月より2ヶ月に1度開催予定で、今後の運営推進会議実施要綱や計画はなされています。	○	今後は自己評価及び外部評価の結果を公表しながら委員の助言を得るなど運営推進会議と評価が一体的に活かされるよう配慮してサービスの質の向上に期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センターと協力しアセスメントツールの作成を行っており、頻繁に連絡を取り合うなどサービスの質の向上に努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、ホームでの日常の様子が紹介された『やわらぎ便り』を送付し、家族の来訪時には本人の近況報告、金銭出納帳の明示報告をしています。必要に応じ随時電話報告も行っています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会が作られ、ホームの行事に合わせて行っています。又、家族アンケートの実施や、話しやすい雰囲気作りに留意し、家族が気軽に意見・苦情等申し立てられるよう配慮しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	担当者制になっていますが、離職等があった場合は職員や管理者が利用者のダメージを防ぐ対応をしています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の講習会・研修会に多くの職員が参加出来るように働きかけ、研修会に参加した職員はミーティング時に発表しています。新しく職員が入った場合は、ベテラン職員が指導を行っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入しており、研修会等での他グループホームとの交流、地域のグループホーム利用者で結成している合唱団の練習等でも交流を図っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に生活暦を把握し利用者・家族にホームを見学してもらい、安心、納得して馴染めるよう努めています。又、事前に家族と共に泊まるなどの対応にも心掛けています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを、管理者・職員が共有しており、料理の作り方や魚のさばき方などを利用者に教えてもらっています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は生活暦や日々の生活の中での本人の言動や表情から意向や希望の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン作成にあたり統一性に欠ける箇所がありました。4月より管理者が代わり、介護計画作成の流れの見直しと職員の意識の向上に努めています。	○	利用者の介護計画に沿った支援を職員が意識し、家族の意向や利用者がより良く暮らせるような支援を期待します。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリング等による定期的な見直しの他、身体状況の変化に伴い随時介護計画の見直しに努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者家族の状況に応じて通院介助や送迎支援、美容院や買物時の外出支援など行っています		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望による医療機関への受診が出来るよう支援しています。又、協力医院による往診や緊急時の協力体制も整っています。7月より週1度、看護師の訪問も始まります。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化及び看取りに関する指針を定めており、家族会で話し合い方針の共有がなされています。管理者は関連する講習会にも参加し、終末期ケアに携わった経験があります。今後は更に、職員のスキルアップに心掛けています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法の意義を理解しながら、利用者の誇りやプライバシーを損なわない対応、声掛け等を常日頃より協議し職員の意識向上を図っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調や生活のペースを大切に笑顔とゆったりとした声掛けを常に心掛けて接しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューはユニット毎に異なり、それぞれ工夫をし美味しく、楽しい雰囲気づくりをしています。又、利用者の方々に育てた野菜を調理したり、利用者の力や状況に応じてテーブルを拭く、食器を洗う・拭くなどの手伝いも職員の見守りの中で行っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	清潔保持のため入浴は欠かせませんが、入浴を拒否する利用者もおり無理強いせず、声掛け等を工夫し週2回は入浴できるよう支援しています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	懐かしい歌を歌う、習字を書くなど利用者はそれぞれ楽しみや役割をもっています。又、定期的な合唱団の練習を楽しみ、張り合いを持って行っています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的にホーム周辺の散歩を行う他、外出の機会として希望者は職員は鍵を掛けない意味を理解しています。日中は玄関の施錠はしないで鈴の音と職員の見守りで対応しています。回転寿司での食事や、買物に職員と一緒に出かけしています。馴染みの美容院に通う利用者もおり、一人ひとりの希望にそった支援に努めています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵を掛けない意味を理解しています。日中は玄関の施錠はしないで鈴の音と職員の見守りで対応しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の災害訓練を実施していますが、夜間想定は行っていません。緊急時マニュアル、連絡網は作成され、地域住民にも協力をお願いしています。	○	あらゆる場面を想定した訓練が必要だと思われます。ホーム職員のみならず、地域の方々も一緒に参加した訓練の実施を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況や体重の増減をチェックし、協力医の助言を受けています。常に家庭的なメニュー、栄養バランスを心掛けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は清潔が保たれ、利用者は居室にこもる事無くリビングで過ごしています。1Fにはプレゼントされたマッサージチェアが置かれ、壁には皆が書いた習字が張られています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、今まで使われていた馴染みの家具や装備品などが置かれ、本人が安心して過ごせるように支援しています。		